

特別支援教育コース

多様性のある子どもに寄り添い、 支え合う教育の創造

特別支援教育コースでは、障害のある子どもの生命と尊厳を守り、発達を支援する教育のあり方を学びます。障害のある子どもに向き合うためには、熱い思いとともに、高い専門性が必要とされます。特別支援教育に携わる教員には、特定の障害に応じた優れた専門性に加え、多様な障害に対応できる幅広い知識が求められているのです。そこで、本コースでは、生理学、心理学、教育学など広範囲な研究成果を基礎として学習し、知的障害、肢体不自由、病虚弱、重複障害、発達障害などについて、専門的・系統的に学習・研究を深めます。その上で、子どもたちの実態に合わせた授業実践を、創造的に展開できるような力を育てます。埼玉大学教育学部附属特別支援学校の実践に触れる機会も多くあります。

特別支援教育の専門科目は、2年次から本格的に始まります。3年次からは専門分野のゼミに所属し、4年次には大学の学びの集大成として卒業論文を完成させます。

こんな授業 こんな研究

名越 斉子 教授

私は、発達障害と知的障害のある子どもの心理学と指導法に関する授業を担当しています。授業では、発達障害や知的障害のある子どもたちの認知機能の特徴や症状のメカニズムなどについて理解し、各障害の特徴を踏まえた指導支援法を習得してもらいます。これらは特別支援教育を専門とする教師に不可欠な知識ですが、これだけで効果的な指導はできません。経験、興味関心、性格、家族や友だちなどは、誰一人同じではないからです。障害の有無にかかわらず、子どもたちの多様性にいかに応え、学びを保障するかが、私の関心事です。そこで、2つのアプローチで研究しています。一つは、個人の認知機能を調べ、指導の手立てを見つけるための知能検査などのアセスメントの研究です。もう一つは、指導の中にある多様な子どもたちがうまく学べない原因を取り除き、多様性に応える授業を行う理論的枠組みである学びのユニバーサルデザイン（Universal Design for Learning: UDL）の研究です。



専任教員

- 葉石 光一 障害児心理生理学
- 名越 斉子 障害児心理学
- 山中 冴子 障害児教育学

主な授業科目

特別支援教育概論、障害児の心理生理学、障害児のアセスメント、障害児教育課程総論、肢体不自由児指導法、病弱児指導法、聴覚障害児教育総論、視覚障害児教育総論、発達障害児の心理と指導、重度・重複障害児の心理と指導 他



研究授業 中学部



研究授業 高等部



担当指導教員と授業の振り返り

STUDENT'S VOICE



4年生
皆川 一学

特別支援教育コースでは、その名の通り一人一人に合った支援・指導法を多く学ぶ事ができます。1学年20名弱で構成されているコースであり、多くの授業を共に受講するため、仲を深めやすいことが魅力のコースです。

特別支援教育コースの受験を悩んでいる人も、少しでも障がいについて興味があれば大丈夫です！様々な障がいについて学んでいくため必ずあなたの興味を引く授業があります！

ぜひ、皆さんも特別支援教育コースで充実した大学生活を過ごしましょう！